

1. 科目名 (単位数)	発達心理学 (2 単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	酒井 博美		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、グループ討議・発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	今日の発達心理学は、人間の受精から死までを扱う「生涯発達心理学」を意味する。本講義では、最初に発達の全体的なプロセスやメカニズムについて、概観する。そして、身体、認知、感情、言語、社会性など、それぞれの機能がどのように発達していくか、考えたい。また、現代の少子高齢化社会や情報社会特有の問題と発達との関係、幼児や児童、生徒の心身の発達を踏まえて、主体的な学びをさせる指導法、関わり方についても講義、ディスカッション等を行いながら、学習を進めていく。		
8. 学習目標	(1) 発達の過程および特徴を理解するための基本的な概念および代表的な理論を理解し、説明ができる。 (2) 発達の機能的側面から、そのメカニズムを理解することにより、幼児や児童・生徒の学習を支える指導の基本的知識と視点を持ち、さまざまな発達の問題に対処できる。 (3) 学習内容を自分の発達問題として捉え、応用できるようにすることを通して、幼児や児童・生徒の主体的な学びを保障するあり方を体得できる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	各回に次回講義に向けてのキーワードを提示するので、事前学習として、下記に示した参考書などをもとに内容を確認しておくこと。毎回の授業開始時にその内容について発表してもらう。各回の講義内容の理解を定着させるように、毎回の復習を確実にすること。		
10. 教科書・参考書・教材	教科書：坂上裕子他著「問いからはじめる発達心理学 生涯にわたる育ちの科学 改訂版」 有斐閣 2024年 参考書：坂上裕子監修「子どものこころの発達がよくわかる本」 講談社 2024年 鈴木忠他著「生涯発達心理学 認知・対人関係・自己から読み解く」 有斐閣 2016年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 (1) 発達の過程および特徴を理解するための基本的な概念および代表的な理論を理解し、説明ができる。 (2) 発達の機能的側面から、そのメカニズムを理解することにより、幼児や児童・生徒の学習を支える指導の基本的知識と視点を持ち、さまざまな発達の問題に対処できる。 (3) 学習内容を自分の発達問題として捉え、応用できるようにすることを通して、幼児や児童・生徒の主体的な学びを保障するあり方を体得できる。 ○評定の方法 ・ 試験・小テスト等 40% ・ レポート等課題研究 20% ・ 平常点 (授業態度、ディスカッションへの参加、発表、発言) 40% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	授業で得た知見について、自身の経験および今後自身が対象とする人々、また現代社会の特徴とも関連づけられる視点を獲得するために、討論やグループワークの機会も設ける。積極的に取り組むこと。		
13. オフィスアワー	授業内に周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 発達心理学を学ぶ意義	事前学習	シラバスを確認し、授業準備をする
		事後学習	発達心理学の概念を理解する
第 2 回	発達における遺伝と環境の影響	事前学習	自分の発達に遺伝と環境がどのように影響していたかを振り返っておく
		事後学習	遺伝と環境の相互作用についてまとめる
第 3 回	発達の諸理論：E.H.エリクソン、S.フロイトの理論	事前学習	第 1 回で触れたエリクソンの心理社会的発達段階説を復習する
		事後学習	心の漸成発達を理解する
第 4 回	胎児期と周生期の発達と運動発達	事前学習	自身の運動発達について振り返っておく
		事後学習	運動における定型発達について理解する
第 5 回	社会性の発達 1 母子関係、他児との関係	事前学習	自身の幼児期における他児との遊びを振り返っておく
		事後学習	愛着理論、社会的遊びについて理解する
第 6 回	社会性の発達 2 コミュニケーション、言語発達	事前学習	自身の言語発達について振り返っておく
		事後学習	コミュニケーションにおける言語の役割、言語発達について理解する
第 7 回	認知の発達 1 知的能力とは、知能の構造と分類	事前学習	認知とは何かについて復習しておく
		事後学習	知能の意味と構造、分類について理解する
第 8 回	認知の発達 2 知能の把握、発達の最近接領域	事前学習	現場で使われる知能検査にどのようなものがあるか調べておく
		事後学習	主要な知能検査の概要について理解する。また、発達の現在の水準と最近接領域の意味を理解する
第 9 回	中間試験	事前学習	これまでの授業内容について理解を深める
		事後学習	これまでの授業内容についての知識や考え方の定着を図る
第 10 回	認知の発達 3 J.ピアジェの理論	事前学習	ピアジェの発達の考え方における基本概念について調べておく

		事後学習	4段階の認知発達について理解する
第11回	児童期の発達	事前学習	児童期に生じやすいさまざまな課題について調べておく
		事後学習	生涯発達における児童期の心性およびさまざまな課題に対するサポートを考える
第12回	青年期の発達	事前学習	自身の思春期から現在までの心性についてさまざまな側面から振り返っておく
		事後学習	アイデンティティーとアイデンティティー・ステータスについて理解する
第13回	発達障害の理解1 発達障害とは	事前学習	発達障害児・者とかかわった経験についてまとめておく
		事後学習	発達障害の概要および現状について理解する
第14回	発達障害の理解2 自閉症スペクトラム障害(ASD),注意欠如多動性障害(ADHD),限局性学習障害(SLD)	事前学習	主要な発達障害について調べておく
		事後学習	発達障害児・者とかかわり方について考える
第15回	まとめ	事前学習	これまでの授業を振り返り、わからないところをまとめる
		事後学習	授業を振り返り、期末試験に備える
期末試験			